
バッタが鳴いた

アライブ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バッタが鳴いた

【Nコード】

N3160D

【作者名】

アライブ

【あらすじ】

ただ浪費するだけに生きている人類の運命とは、いったい・・・？

誰かが言ったのを覚えてる。

生と死との壁は薄くて厚い。

どういう意味だ？

俺はずっと考えてた。

*

ある日、俺は一人になった。

家族が死んだとか、

そういうものではない。

みんな、いなくなったんだ。

この日本という国、

いや、おそらく世界中で、

人間が、消えた。

でも俺はここに居る。

無人の喫茶店でぬるい紅茶を飲みながら、

秋のすごしやすさに感謝しながら、

俺はこの日記とも自伝ともいえない、記録を残している。

もう何日目だろう？

みんなが消えたのは。

最近、なにかも馬鹿らしくなってきた。

俺は何の為に生きている？

少しでも、自分という存在を主張したいから、

こんなもの書いているんだとおもう。

そういえば、こんな映画があつたよな・・・。

自分を残して人間が一人もいなくなる奴。

あれ、面白そうだなって思ったけどさ、

自分に降りかかると、とんでもねえな。

*

バツタが鳴いた。

え？ 俺今、なんて言った？

バツタって鳴くのか。

初めて知ったよ……。

違う、違う！

それは妄想じゃないのか？

もうこの世には、俺をのぞいて、生物は存在しないのに

バツタの声が聞こえるわけがないだろう？

……ああ、でも

バツタに訊いてみたいな。

キミはなんで、飛ぶことより跳ぶことを選んだんだい？

*

世界はもう俺のモノなのに

なんでこんなに空しいんだろう？

ゲームもマンガも、なんでもやり放題だぜ？

コンビニなんて天国だ。

……でも、

俺達人間って、コンビニに支配されてたんだな・・・

そこから一步も出ずに、暮らせることが、

俺は癪だったのかもしれない。

「なあ、コンビニよ」

俺は、言った。

久しぶりの日本語は、なんか変な感じがする・・・。

「お前は、スイカやメロンや、そういうものは売ってないんだろう？ お前、駄目だなあ」

なにいつてんだろ。

「そうだな、今度出してみようかな。在れば買っただろ？」

コンビニが、そう言ったような気がした。

*

生と死は紙一重。

誰かが言ったのを覚えてる。

それとも俺の妄言か？・・・どうでもいいや。

とにかく俺は、それに強く同感してしまった。

ただ浪費する俺はもはや、人間と言えるのか？

食って、寝て、食って・・・

それを繰り返す人類は、生物と言えたのだろうか？

俺はもう、胸を張って反論することができないよ・・・。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3160d/>

バッタが鳴いた

2010年12月30日02時48分発行